



東小学校だより

木 洩 れ 陽

令和3年11月2日 No.8

文責 校長 瀨砂一徹

11月になりました。この1、2週間、県内でコロナウィルスに感染した人の数は報告されていません。この傾向は全国規模のようで、このまま静かに収束してほしいと願わずにはられません。

さて、10月末には4年生以下の児童が秋の遠足に行きました。そして今月半ばには5年生が行膝宿泊学習、6年生が修学旅行に行くこととなります。これらの行事は、いつの時代も子どもたちの心を豊かにし、精神的に大きく成長させる機会だと思います。実りの秋と呼ぶにふさわしい今日この頃です。

【「声に出して読む心地よさ」を大切に】

私達は文章を読む際、文字を目で追ったり、声に出して読んだりしながら意味を理解しようとします。時には、鉛筆を片手に大事な部分に線を引いたり、キーワードを丸囲みしたりしながら読み進める場合もあります。その時々に応じて、様々な読みの形態を取り入れていると言えるでしょう。

文章を読むという行為の目的は、その文章に何が書かれているのか理解しようとすることに他なりません。そう考えると、状況に応じてどの読みを選択するのが非常に重要になってきます。例えばみんなが使う図書室で大きな声を出して本を読むことはマナーに反するでしょう。まして、図書室の本に線を引いたり書き込んだりすることは許されません。しかし、自宅で自分の教科書や参考書を読む場合は、声に出し、書き込みを加えることで理解は深まることと思います。

現在、学校では、声に出して読む心地よさを存分に味わわせるために教科書を音読する機会を多くもっています。「役割読み」「一文交代読み」「繰り返し読み」「リレー読み」等を取り入れながら、声に出して文章を読む心地よさを味わわせています。

詩の暗唱を通して その3・・・

11月の詩は、長田弘（おさだ・ひろし）さんの『最初の質問』の冒頭部分です。“今日、あなたは空を見上げましたか…”から始まる、問いかけが続く詩です。ぜひ口ずさんでほしいと思っています。

